



令和2年4月10日発行
進路だより特別号
京都府立桃山高等学校
進路指導部

御入学おめでとうございます

ようこそ、桃山高校へ！

教職員一同、新入生の皆さんを心より歓迎いたします。

さて、この便りは桃山高等学校の進路指導部が発行しています。

進路指導部は、担任の先生や教科担当の先生とともに、皆さんが高校を卒業されるときの進路選択および進路実現の手助けをする仕事をしています。新入生の皆さんの3年後を見据えて、今後様々な取り組みをしていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



スタディサポートを解きましょう

その取り組みの最初はスタディサポートです。スタディサポートとは、例年、新入生対象に、高校合格後すぐ、春休みのうちに受験をしてもらう学力テスト（模擬試験）です。

このテストは、皆さんの高校生としてのスタートにあたり、中学校までにどれくらいの学力を身につけてこられたか、国語・数学・英語の3教科について調べるためのものです。

その目的は、

- ① 生徒一人ひとりについて、中学までの学習内容の到達度を授業担当教員が把握した上で、これからの授業の進め方を定めていくためのデータ収集をする
- ② 生徒一人ひとりが、自分自身の学習到達度を把握し、必要に応じて、中学の内容を復習したり、高校での学習をスタートさせるにあたって、特に重点をおくべき教科や分野を明確にする

ということです。

本来は、学校において、制限時間を設けてこのテストに臨んでもらうのですが、残念ながら今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置により、休校期間中に皆さんの自宅で実施してもらうこととなりました。

模擬試験を自宅で受験することについて

模擬試験を自宅で実施することについては、不安を抱く人も多いことでしょう。確かに本来の形態での実施ではありませんが、自宅で行うことで大きな目標が見えてきます。

まず、知っておいてほしいことは、

高校での学習は、自らが主体的に取り組むことがあたりまえ

だということです。自分の学力を身につけていくためには、主体的に取り組む姿勢がとても大切です。『自分で時間を管理する』『先生からの説明を聞くだけでなく、自ら問題の解説文を読み込み、その内容の理解に努める』というような姿勢が高校の学習では今まで以上に必要とされます。でないと、自分の学力を伸ばしていくことはなかなか難しいから

です。今回、長期間の休校となり、入学早々、学校での授業を受けられなくなりましたが、これからの『学習に対する構え』を築くべく、この休校期間を大いに活用しようではありませんか。各教科から様々な自主学習についての指示もされていますが、それらとともに、今回のスタディサポートを大いに活用しましょう。

自宅受験の方法

では、自宅受験の方法については、以下の手順を踏んでいきましょう。

① 定められた制限時間内に解く

自分で時間を計り、緊張感をもって解きましょう。一定の時間、集中できるような環境を整えてから始めましょう。なお、今回は英語のリスニングは実施しません。

⑤を除く60分バージョンで解いてください。

② 自己採点を行う

制限時間いっぱいまで頑張って答案を仕上げましょう。制限時間が過ぎたらその時点で解答をやめ、そのときまでに解答した部分で答案(提出用)はできあがりです。そして、ここからが大切です。まず、『模試ノート』というものをあらかじめ作っておきましょう。そして、時間内の解けなかった問題を今度は時間に関係なくすべてノートに解きましょう。選択問題の場合、選択しなかった問題もすべて解くのです。そうして、すべての問題をやり終えた後に初めて別冊の解答・解説書を開けて自己採点を行います。もちろん点数化される部分は時間内に解いた箇所にとどめておきます。今回はマーク式ですので正確な自己採点ができるはずです。

③ 振り返りに時間をかける

すべての問題を精一杯解き終わったあとは振り返りの時間となります。ここからはじっくりと解説書を用いて問題と向き合ってください。問題の主旨、設問の意図、考え方の道筋、等々を理解したら、自分にとって足りなかった部分、再度復習すべき部分が見えてくるはずです。この作業が、これからも、模擬試験の受験に際して最も重要なところとなります。残念ながら多くの生徒は解説書とじっくり向き合う時間を作っていません。これは大変勿体ないことです。

解説書は最良の家庭教師であり、学習アドバイザーである

ことを再確認して解説書をしっかり読み込んでください。

『主体的学習者』になろう！

本来の実施形態で模擬試験が実施できないことはたいへん残念なことです。以上で述べたような学習を実行すれば、たとえ自宅受験でもその効果は大いに期待できます。そして今回の経験は、実は『主体的学習者』になるための絶好の機会になるはずです。中学まで受け身の学習姿勢でいたかもしれないあなたにとって、高校入学直後の今が自分を大きく変える時となることを願っています。

